



飯南町谷地区

山あり谷あり笑いあり 安心して楽しく暮らせる谷

いつまでも安心して楽しく暮らせる谷地区を目指して、谷自治振興会が中心となって活動に取り組んでいます。自治会輸送や除雪作業などで住民の生活を支え、「谷笑楽校」では笑いあふれる拠点として様々な交流事業を開催しています。

これまでの地区のあゆみ

H16 「谷自治振興会」を設立

H18 「谷自治振興会地域計画」を策定

H21 自治会輸送「せせらぎ号」の運行開始



H21 雪かき戦隊「スノーレンジャー」を結成



小型除雪機

H22 交流拠点施設「谷笑楽校」を開校



H25 県の現場支援地区に選定 (H25.2~H28.3)

R2 「谷 未来ビジョン」を策定

Step 小さな拠点づくりのステップ

step.1 共有 はじまりは生活インフラの要望

山間部にある谷地区では、道路や水道などの生活インフラの整備が長年にわたる課題でした。行政に要望を続け、一つ一つ実を結んで行く中で、住民の結束力が強くなり、課題解決に向けた意識が育まれました。

step.2 体制 地域づくりの主役は住民

行政の支援を受け、平成16年に「谷自治振興会」を設立。各自治会からの委員数を多くすることで主体となる住民を増やし、「住民が主役の地域づくり」を目指した体制づくりを進めました。

step.3 計画 3つの基本目標

役員を中心に話し合いを重ね、平成18年に「谷自治振興会地域計画」を策定。①活力あふれる谷、②安心して暮らせる地域づくり、③楽しく暮らせる谷、の3つの目標を設定しました。

step.4 実践 住んでよし 訪ねてよしの谷づくり

住民の移動を支える「せせらぎ号」の運行や「スノーレンジャー」による雪かきなどを実施。「谷笑楽校」では地域内外の様々な交流事業を通して、笑いあふれる楽しい交流の拠点をつくっています。

step.5 発展 いつまでも安心して楽しく暮らすために

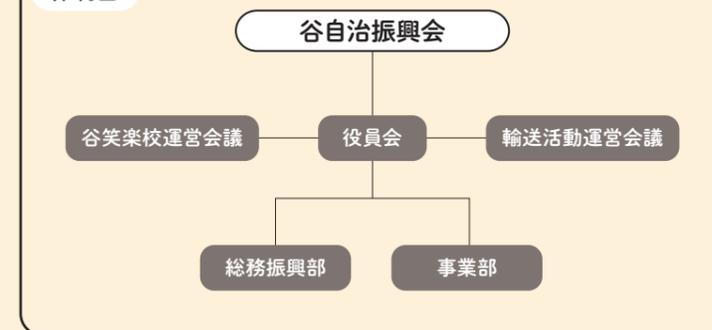
高齢化等が進む中、必要となるのは担い手の確保。そこで、未来の谷地区を住民全員で支えていくため、若者世代の意見も取り入れた「谷 未来ビジョン」を策定しました。地区外に住む出身者にも声を掛け、活動の輪を広げながら取組を進めています。



● 町役場・支所 ● 公民館等 ● 教育機関等
● 医療機関 ● 買い物施設 ● ガソリンスタンド

- 人口 189人(高齢化率 55.6%)
- 地域の特徴 ・中国山地の山間に位置し、美郷町と広島県三次市に隣接
・最寄りのバス停まで距離があり、公共交通機関による移動も不便

体制図



Pick UP

私たちのやり方 Our Project



地域に安心を運ぶ「せせらぎ号」の運行

公共交通機関が不便なために買い物や通院等に困っている住民を助けようと、谷自治振興会のメンバーが運転手を担い、地区内移動やバス停・役場・金融機関等に送迎する自治会輸送を行っています。運行車両「せせらぎ号」は飯南町から無償貸与されたワゴン車。利用希望者は事前に予約し、燃料費相当を実費として負担しています。令和2年には延べ利用者数が5,000人となり記念セレモニーが開催されました。

まちのひとの声



運転手さん

「自宅まで迎えに来てもらえるのでありがたい」と感謝の声をいただいています。その声や笑顔があるのでやりがいを感じています。

step.1 課題

平成20年8月に町が翌年度からの町営バス路線の見直し方針を発表。車を運転しない住民が日常生活の移動で困る状況に。

step.2 計画

町から島根県の自治会等輸送活動支援モデル事業の提案を受け、谷自治振興会に設置した「輸送活動運営会議」で実施に向けた検討を開始。事業に採択され、利用者や運行方法、送迎先などを決定して、ドライバーの募集を行いました。

step.3 トライ

集まったドライバーは安全運行のための講習会を受講し、平成21年8月から運行を開始。谷地区住民全員を対象として平日の8:30~18:00まで運行し、利用者は2日前までに電話予約が必要です。開始当初の送迎先は地区内と高速バスや生活路線バスの発着所である赤名バス停でした。



講習会

step.4 改善

しばらくすると役場や金融機関、町内医院へも送迎してほしいとの声があがりました。交通事業者の理解を得て、現在は送迎先を広げて運行しています。

step.5 これから

大きな課題は運転手の高齢化。地区住民はもとより地区外に住む出身者に情報発信し、交流を行う中で新たな担い手を確保していきたいです。

雪かき戦隊「スノーレンジャー」

積雪の多い谷地区では、高齢化等により自宅前の雪かきも難しい世帯を助けようと、50~70歳代のメンバーが「スノーレンジャー」を結成しました。助成事業を活用して除雪機を2台購入。利用者は1,500円/時間の料金を支払い、除雪作業を依頼します。多いときには出動回数が80回にのぼる年もあります。



笑いあふれる交流の場「谷笑楽校」

旧谷小学校を改修した「谷笑楽校」では、「笑いあふれる楽しい交流の拠点づくり」をテーマに神楽共演大会などのイベントを実施。「防災カフェ」や「菜園カフェ」など毎月異なるテーマでカフェを開催するなど、「にぎわい」「生きがい」づくりの拠点となっています。

